

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：貝類の不思議 ILAS Seminar :Diversity, ecology and evolution of marine mollusks			担当者所属 職名・氏名	フィールド科学研究センター 准教授 中野 智之		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2026・ 前期集中	受講定員 (1回生定員)	5(5)人	配当学年	1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 未定	教室	瀬戸臨海実験所			使用言語	日本語
キーワード	軟体動物 / 分類学 / 形態学 / 解剖学						
【授業の概要・目的】							
<p>古来より、四方を海に囲まれた日本において貝類が食料として食卓にあがることは珍しくない。しかしながら、その貝類の形態、食性、生態の多様性を知らずに食している人が大部分であろう。一般的に貝類と称される巻貝類や二枚貝類は世界で10万種を超えと言われ、その進化の歴史の深さは計り知れない。</p> <p>そこで本ILASセミナーでは、講義およびフィールド調査、実習室での詳細な観察を通じて、貝類の多様性、生態、進化についての理解を深める事を目的とする。</p>							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 海洋生物の進化に関する基本的事項を理解する。 ・ フィールド調査の手法を習得する。 ・ レポートに対して自主的、継続的に取り組む能力を養う。 							
【授業計画と内容】							
4月24日18時30分から農学部総合館2F会議室（N283）でオリエンテーションを行う							
<p>実習は5月2日から4日の2泊3日で、和歌山県西牟婁郡白浜町にある「瀬戸臨海実験所」にて行なう。実験所周辺の岩礁海岸および田辺市の干潟などでフィールド観察や採集調査を行ない、貝類の生態を観察する。その後、実習室において図鑑類を用いた同定作業や実体顕微鏡を用いた解剖や形態観察を行ない、貝類の形の多様性や進化について理解を深める。実習中にレポート課題を提示し、実習終了時にレポートを提出する。</p> <p>実習の詳細については、初回オリエンテーション時に受講者と調整を行なう。</p> <p>なお、京都から白浜までは特急くろしおで6,600円程度。JR白浜駅からは、直接「臨海」経由のバスを使うか、あるいは「白浜バスセンター」まで行き、臨海方面行きバスに乗り換え「臨海」で下車。なお、JR白浜駅から実験所まではバスで20分程度、バスセンターから実験所までは徒歩で約20分。</p>							
【履修要件】							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団生活ができ実習が楽しめ、海洋生物に興味があれば、予備知識や文系・理系を問いません。 ・ 実習中に必要となる知識・用語などは、実習中に適宜補足します。 							
【成績評価の方法・観点】							
実習への積極的な参加(30点)、レポート(70点)により評価する。							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊型の実習のため、実習中の集団行動を乱す者については厳しく対応し、「実習への積極的な 							
ILASセミナー：貝類の不思議(2)へ続く							

ILASセミナー：貝類の不思議(2)

参加」の項目を減点する。

- ・レポートに関しては、新規性もしくは独自性が見られる考察については高い点を与える。

[教科書]

貝類の同定に必要な図鑑類は、実習中に限り、実験所所蔵のものを貸し出しします。

[参考書等]

(参考書)

佐々木猛智『貝類学』(東京大学出版会) ISBN:978-4130601900

日本貝類学会編『貝の疑問50』(成山堂) ISBN:978-4-425-98421-3

朝倉彰、河村真理子、和田洋(編)『動物の系統分類進化学』(丸善出版) ISBN:978-4-621-31171-4

[授業外学修(予習・復習)等]

オリエンテーション時に、実習までに予習すべき事を指示します。

[その他(オフィスアワー等)]

- ・学生教育研究災害傷害保険等の傷害保険へは必ず加入して下さい。
- ・交通費・食費は受講生負担となります。
- ・宿泊は瀬戸臨海実験所の宿泊棟を利用します。シーツのクリーニング代として900円を徴収します。
- ・実習中、疑問や質問があれば積極的な発言を期待します。実習生間での議論も歓迎です。

[主要授業科目(学部・学科名)]